

令和7年度使用中学校用教科用図書の調査・研究について

1 調査研究の観点

生徒や地域の実態を踏まえ、本市の教育課程編成基準に示した広島市が目指す子どもの姿の実現を目指し、以下の観点で調査・研究すること。

< 知識及び技能の習得 >

- 教科の知識及び技能を確実に習得させる上での創意工夫がなされているか。

< 思考力、判断力、表現力等の育成 >

- 教科の知識及び技能を活用して課題を解決する学習を取り入れるなど、思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫がなされているか。

< 主体的に学習に取り組む工夫 >

- 学ぶことに興味や関心をもたせ、見通しをもって学習に取り組むことや、自己の学習活動を振り返ることができる工夫がなされているか。

< 内容の構成・配列・分量 >

- 学習指導を効果的に進める上で、適切な内容の構成・配列・分量となっているか。

< 内容の表現・表記 >

- さし絵・地図・図表などの資料等が、有効に使われるよう配慮されているか。

2 記述に当たっての留意点

- (1) 各種目別に全発行者の教科用図書について記述し、特徴を一覧表にすること。
- (2) 具体的な事例をあげるなど、各教科用図書の特色を浮き彫りにするよう工夫すること。
- (3) 単に、一般的な感想又は見解及び優劣について述べることを避け、客観的に明らかにし得る事柄を述べること。
- (4) 種目別に配列し、同一種目内の記載順は、「中学校用教科書目録（令和7年度使用）」に示してある発行者番号の順によること。